

# 中間株主通信

第75期中間報告書 | 2021年4月1日から  
2021年9月30日まで

## 目次

- ・株主の皆様へ
- ・セグメント別概況
- ・中間連結財務諸表
- ・クローズアップ <マルナカ>
- ・株式状況・会社概要
- ・拠点紹介

飼は食を司る





代表取締役社長 **平野 晴信**

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、中部飼料株式会社 第75期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の中間株主通信をお届けいたします。

飼料業界におきましては、昨年夏以降上昇していた主原料のとうもろこし価格が、中国の旺盛な需要やエタノール需要の回復などから、当期に入ってさらに上昇しました。このような状況を反映して、飼料メーカー各社は、4月及び7月に配合飼料価格を値上げしました。また、昨年11月に発生して急速に拡大した鳥インフルエンザは収束したものの、飼料需要はすぐには戻らず、採卵鶏用飼料の流通量が減少するなど厳しい事業環境は続いております。

このような状況のなか、当社は成長市場でのシェア拡大や高度な提案を実施する畜種別販売戦略、お客様の利益に貢献する差別化飼料の販売を行い、業

## 売上高

956億円（前年同期比10.2%増）



## 営業利益

30億円（前年同期比18.4%増）



績の向上に努めてまいりました。また、伊藤忠商事株式会社及び伊藤忠飼料株式会社との間の資本提携解消及び業務提携変更を行い、8月に当社と伊藤忠飼料株式会社の共同出資によるみらい飼料株式会社が保有する4工場のうち、3工場を会社分割により分離しました。提携変更の理由は、スピード感に優れる自社一貫生産体制のメリットを最大限に活かしてお客様に貢献し、さらなる成長を目指すためであります。

その結果、当中間連結累計期間の業績は、売上高は、前期9月と当期8月に連結子会社の事業譲渡をしたことや収益認識会計基準適用による減少要因があったものの、主力の飼料事業が前年同期を上回ったことなどにより、前年同期比10.2%増の956億14百万円となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果と売上総利益率の上昇により前年同期比18.4%増の30億6百万円となりました。経常利益は、前年同期比17.2%増の32億

17百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に特別損失に計上した事業譲渡損がなくなったことなどにより増益幅が拡大し、前年同期比43.8%増の22億49百万円となりました。

また、2022年3月期の通期見通しにつきましては、売上高1,775億円（前期比2.1%減）、営業利益55億円（前期比2.1%増）、経常利益58億50百万円（前期比1.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益41億円（前期比8.4%増）を見込んでおります。

当社は、差別化飼料を武器に、成長市場である北海道・東北でのシェア拡大や、畜種ごとで営業組織の機動力と専門性を高め、高度な提案を実施し拡販を図ることなどで、業績の向上を目指します。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

## 経常利益

**32**億円（前年同期比**17.2%**増）



## 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

**22**億円（前年同期比**43.8%**増）



# セグメント別概況

## 飼料

### 畜水産飼料の製造販売

#### 業績

売上高は、平均販売価格、飼料販売量ともに前年同期を上回ったため、前年同期比24.4%増の901億48百万円となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費の増加があったものの、原料ポジション改善による利益率の向上や販売量の増加などにより、前年同期比20.8%増の32億16百万円となりました。鳥インフルエンザの影響が残り採卵鶏用飼料が減少したものの、成長市場である北海道やブロイラー用飼料、養牛用飼料は順調に販売量を伸ばしております。

#### 売上高

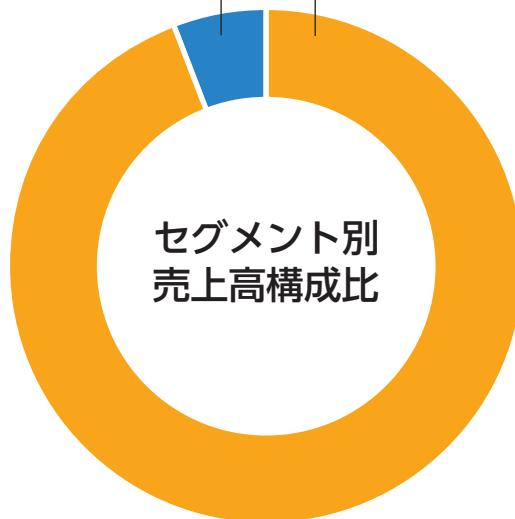
**901億48百万円**  
(前年同期比**24.4%**増)

#### セグメント利益

**32億16百万円**  
(前年同期比**20.8%**増)

その他 **5.7%**  
(54億66百万円)

飼料 **94.3%**  
(901億48百万円)



養鶏用飼料



養豚用飼料



養牛用飼料



養魚用飼料

その他  
**8.6%**  
(3億3百万円)

飼料  
**91.4%**  
(32億16百万円)

## セグメント別 利益構成比



## その他

消費者向けの畜水産物の販売、畜産用機器の販売、  
肥料の製造販売、不動産賃貸、保険代理業

### 業績

売上高は、前年同期比61.9%減の54億66百万円となりました。減収の主な要因は、収益認識会計基準適用による減少、前期9月に連結子会社の株式会社スマックを事業譲渡したことであります。セグメント利益は、前年同期比18.2%減の3億3百万円となりました。減益の主な要因は、量販店向けの販売増加により特殊卵、畜産物が増益となったものの、前期の大型案件の反動減により畜産用機器が減益となったことであります。

### 売上高

**54億66百万円**  
(前年同期比**61.9%**減)

### セグメント利益

**3億3百万円**  
(前年同期比**18.2%**減)

# 中間連結財務諸表

## ● 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (2021年3月31日)	当中間期末 (2021年9月30日)		前期末 (2021年3月31日)	当中間期末 (2021年9月30日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>55,920</b>	<b>56,979</b>	<b>流動負債</b>	<b>21,389</b>	<b>21,361</b>
現金及び預金	11,747	7,092	買掛金	13,258	14,281
受取手形及び売掛金	30,416	34,657	短期借入金	1,629	557
商品及び製品	2,284	2,485	1年内返済予定の長期借入金	2,120	2,119
仕掛品	764	693	未払法人税等	519	1,108
原材料及び貯蔵品	7,632	9,789	賞与引当金	425	709
その他	3,244	2,433	役員賞与引当金	87	16
貸倒引当金	△169	△172	その他	3,349	2,568
<b>固定資産</b>	<b>32,012</b>	<b>30,260</b>	<b>固定負債</b>	<b>6,271</b>	<b>4,360</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>26,036</b>	<b>24,254</b>	長期借入金	3,347	1,397
建物及び構築物	9,125	8,835	債務保証損失引当金	12	14
機械装置及び運搬具	7,527	6,936	退職給付に係る負債	477	536
工具、器具及び備品	1,103	1,061	資産除去債務	70	70
土地	8,030	7,125	その他	2,364	2,342
建設仮勘定	249	295	<b>負債合計</b>	<b>27,660</b>	<b>25,722</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>459</b>	<b>416</b>	<b>(純資産の部)</b>		
<b>投資その他の資産</b>	<b>5,516</b>	<b>5,589</b>	<b>株主資本</b>	<b>58,255</b>	<b>60,056</b>
投資有価証券	4,836	4,806	資本金	4,736	4,736
その他	763	866	資本剰余金	4,356	4,332
貸倒引当金	△83	△83	利益剰余金	49,660	51,460
<b>資産合計</b>	<b>87,932</b>	<b>87,240</b>	自己株式	△497	△472
			その他の包括利益累計額	1,355	1,247
			その他有価証券評価差額金	1,214	1,113
			繰延ヘッジ損益	124	95
			為替換算調整勘定	△38	△6
			退職給付に係る調整累計額	55	45
			非支配株主持分	660	213
			<b>純資産合計</b>	<b>60,272</b>	<b>61,517</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>87,932</b>	<b>87,240</b>

● 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	86,785	95,614
売上原価	80,094	88,172
売上総利益	6,690	7,441
販売費及び一般管理費	4,151	4,435
営業利益	2,538	3,006
営業外収益	241	230
受取利息	1	3
受取配当金	113	114
持分法による投資利益	42	28
貸倒引当金戻入額	0	0
債務保証損失引当金戻入額	14	—
その他	69	83
営業外費用	35	19
支払利息	15	12
債務保証損失引当金繰入額	—	2
支払補償費	17	—
為替差損	0	1
その他	2	2
経常利益	2,745	3,217
特別利益	5	4
固定資産売却益	4	4
投資有価証券売却益	1	—
特別損失	388	7
固定資産除売却損	8	7
事業譲渡損	380	—
ゴルフ会員権評価損	0	—
税金等調整前中間純利益	2,361	3,214
法人税、住民税及び事業税	819	1,066
法人税等調整額	△19	△102
法人税等合計	800	963
中間純利益	1,561	2,250
非支配株主に帰属する中間純利益又は中間純損失(△)	△3	0
親会社株主に帰属する中間純利益	1,564	2,249

● 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	5,723	△2,402
投資活動による キャッシュ・フロー	171	1,657
財務活動による キャッシュ・フロー	1,084	△3,923
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△4	13
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	6,975	△4,654
現金及び現金同等物の 期首残高	7,728	11,737
現金及び現金同等物の 中間期末残高	14,704	7,082

### ◇伊藤忠グループとの資本提携解消及び業務提携変更について

#### ■ Q 資本提携解消の内容について教えてください ■

2021年6月7日に実施した株式売出しを通じて、伊藤忠グループが保有していた**当社普通株式全部を売却**する方法で解消しました。

#### ■ Q 業務提携変更の内容について教えてください ■

当社と伊藤忠飼料が共同出資してつくった合併会社「みらい飼料」が保有する4工場のうち、石巻、門司、志布志の**3工場を会社分割により分離**しました。そして、その3工場を承継した新会社を2021年8月1日に伊藤忠飼料に譲渡しました。

みらい飼料には八戸工場だけが残り、従前と同様の枠組みで伊藤忠飼料との共同生産事業を継続しています。ただし、2023年9月以降に、合併を解消する権利を当社・伊藤忠飼料双方が保有しています。

#### ■ Q 業績にはどのような影響がありますか ■

売上高については、みらい飼料の工場を分離することによって、順次減少する見込みです。

- 22.3期…8月から分離した3工場の売上が無くなる
- 23.3期…1年を通して3工場分離による売上減少の影響を受ける
- 24.3期…みらい飼料八戸工場を分離した場合、分離以降、その売上も無くなる

一方で、みらい飼料はコストセンターであるため、**利益面の影響は軽微**です。なお、これらの影響については、2021年5月20日に発表した修正計画に織り込んでおります。

## ■ Q なぜ提携を解消するのですか ■

再度、**自社一貫生産体制に集中**するためです。飼料業界の製造工場には自社工場と、複数の飼料メーカーによる合弁工場（JV工場）の2種類あり、多くのメーカーはJV工場を選択しています。

下表は、当社が考える自社工場とJV工場のメリットとデメリットです。

	自社工場	JV工場
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自社単独で意思決定ができる</li><li>• 製販の一体感が生まれる</li><li>• ノウハウが漏れにくい</li><li>• 高度な技術を蓄積でき製品を差別化しやすい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 大量生産によりコストが抑えられる</li><li>• 1社当たりの投資負担が軽くなる</li></ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>• コストが割高になる</li><li>• 投資負担が重い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 意思決定に会社間の協議が必要</li></ul>

当社は、トータルで見て、JV工場よりも**自社工場の方がお客様に貢献できる**と判断し、自社工場を選択しました。**スピード感に優れる自社一貫生産体制**を最大限に活かし、**さらなる成長**を目指してまいります。

# 株式状況・会社概要

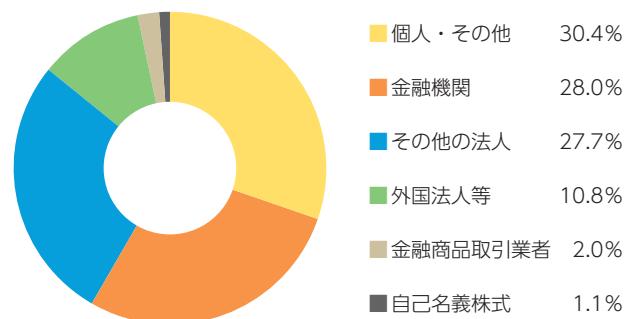
## 株式状況 (2021年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 30,371,908株
- 株主数 9,255名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,893	9.63
日本生命保険相互会社	1,486	4.94
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	968	3.22
豊田通商株式会社	945	3.14
日本ハム株式会社	945	3.14
平野殖産株式会社	893	2.97
株式会社三菱UFJ銀行	800	2.66
東京海上日動火災保険株式会社	754	2.51
丸紅株式会社	752	2.50
東北グリーンターミナル株式会社	679	2.26

(注) 持株比率については、自己株式 (337,894株) を控除して算出しております。

## ■所有者別株式比率



## 会社概要 (2021年9月30日現在)

- 会社名 中部飼料株式会社  
CHUBUSHIRYO CO., LTD.
- 本店所在地 名古屋市中区錦二丁目13番19号
- TEL 052-204-3050
- 設立 1949年3月24日
- 資本金 4,736百万円

## ■取締役及び監査役

- |         |      |
|---------|------|
| 代表取締役社長 | 平野晴信 |
| 取締役副社長  | 藤田京一 |
| 専務取締役   | 牧田健二 |
| 常務取締役   | 伊藤敏宏 |
| 取締役     | 全屋和夫 |
| 取締役     | 井藤直樹 |
| 取締役     | 小林洋哉 |
| 取締役     | 酒井映子 |
| 取締役     | 太田和人 |
| 常勤監査役   | 若山茂樹 |
| 監査役     | 岩佐和彦 |
| 監査役     | 亀井淳  |
| 監査役     | 柴垣信二 |

(注) 取締役小林洋哉、酒井映子及び太田和人並びに監査役岩佐和彦、亀井淳及び柴垣信二は、社外役員であります。

# 拠点紹介



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所・名古屋証券取引所 電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.chubushiryō.co.jp/">https://www.chubushiryō.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社概要やIRの最新情報などをご参照いただけます。  
なお、スマートフォンにも対応しております。

<https://www.chubushiryō.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。